

リキュールの梅はにほひと 酒に漬け
飲めば夢見は 甘き声かも

令和四年七月七日

大中臣正比呂



霧嶋神社の境内には何本かの梅の木がある。村の氏子は誰も取らない。

梅の実は格好の材料である。「しよいっこ」を担いで採りに行こう。

左手には朽ちた枝を引き手とし、梅の太枝に引っかけてグイと引っ張る。

右手は梅の実に届いた。90度に捻る途中で葉が揺れて、もげる。

グラスに氷を入れ、出来上がった梅酒で若干の水割りとしよう。

夜の銀座は江戸切子のペアグラスが待っている。貴女と飲みたい。